

- ☆ 生育状況は、ほぼ昨年並に推移すると予想されます。(大石早生 収穫開始予想6/29頃～)
- ☆ 気温が上昇し、6月中下旬～7月上旬にかけてスモモヒメシンクイ第1世代の発生がピークを迎えると予想されます。
引き続き、10日間隔の防除を徹底して下さい。
- ☆ 新梢成長が旺盛な園地が散見されます。樹冠内部まで光が入るよう、新梢管理を徹底して下さい。

6/10 スモモヒメシンクイ発生状況(フェロモントラップ調査)

*()内、前回 6/3 調査数

上今井 - 20頭↑(1) 草間 - 5頭↓(8) 一本木 - 4頭↓(21) 倭 - 39頭↑(11)

【重要】シンクイムシ類の被害果は、園外へ除去し処理をお願いします。

1. プラム 薬剤散布 第10回

・散布時期： 7月1日～10日頃 (第9回目の薬剤散布から約10日後)

・散布薬剤： 水 100ℓ当り

・散布日 7月 日
・散布量 ℓ

展着剤 (まくぴか) 20ml

劇バيسロイドEW 33ml (14日前、2回)

パレード15フロアブル 50ml (前日、2回)

・対象病害虫：灰星病、アブラムシ類、(シンクイムシ類)

・散布量：10a当り SS500ℓ 動噴600ℓ (散布むらのないよう注意する)

・注意事項

- ① 今回以降の展着剤は、シリコーン系展着剤「まくぴか」5000倍を使用してもよい(湿展性改善、果実汚染防止)
- ② 紅りょうぜんなど収穫時期が近い品種は、バيسロイドに代えてエクシレルSEの2,500倍(前日、3回)を使用する。

2. プルーン 薬剤散布 (第6回)

・散布時期： 6月29日～7月4日 (第5回目の防除から約14日後)

・散布薬剤： 水 100ℓ当り

・散布日 月 日
・散布量 ℓ

展着剤 (ハイテンパワー) 10ml

劇バيسロイドEW 33ml (14日前、2回)

フルーツセイバー 66ml (前日、3回)

・対象病害虫：灰星病(炭そ病)、アブラムシ類、(カメムシ類)、(シンクイムシ類)

・散布量：10a当り SS500ℓ 動噴600ℓ

・注意事項

- ① 果実病害の重要な時期であるので、果実にかかるよう十分散布する。
- ② ハダニ類 発生園は、ダニゲッターフロアブルの2000倍(前日、1回)を加用する。
*ダニゲッターは「シャインマスカット」や「水稻」に薬害を生じるため、飛散しないよう注意する。

資材課からのお知らせ：予約農薬・果実袋等を返品される場合は、早めの持ち込みをお願いします。

(次回特報発行予定7/1～2頃 プラム：第11回 プルーン：第7回)